

栄光めざし励みゆけ



興譲館での充実した日々

三年一組 菅 井 望 花

(米沢一中出身)

中学生の時に聞いた「高校生活は一瞬で終わるよ」という言葉通り、気がつくとも高校生活も終わりに近づいてきました。三年間を振り返ると、体育祭、興譲祭、東京探究研修、台湾研修など多くの貴重な体験をさせていただきました。私にとって特に印象深いのは、普段の授業です。個性あふれる先生方やクラスメイトたちの意見に触れ、議論を交わした日々や教室のざわめき、雰囲気は、心象風景として残り、今後の自分を支える糧になると思います。大学では、社会における自分の役割を考えながら、一日一日を大切に、さらに学びを広げていきたいです。先生方、友人、家族に支えられ、充実した高校生活を送ることができました。三年間、本当にありがとうございました。



体育祭(3年1組)



ハイレベル科学実験講座



合唱コンクール



令和6年度探究科海外研修

成長、そして前進

三年四組 鈴 木 拓 朗

(米沢一中出身)

一日を一里として、約千里ある高校生活。入学から進めてきた歩みは、いよいよ千里に到達しようとしています。興譲館では、物事を深く考え学びに向かう姿勢、そして、授業や活動の中の疑問を調べ考え続けるという姿勢が身についたと思います。学ぶことの面白さも実感しました。また、体育祭や興譲祭、課題研究での取り組みを通して、仲間と協働することの大切さも学びました。互いの意見を尊重し支え合うことで、よりよい成果につながり、それはとてもよい思い出になっています。

四月からは山形大学に進学し、教員になるべくまた新たな一歩を踏み出します。高校で歩んだ千里を糧とし、大学でも探究心を大切にしながら、主体的に学びを深めていきます。教員として母校に戻ってこれたら嬉しいですね。



サイエンスフォーラム in 山大



令和5年度デザイン思考ワーク



壮行式での吹奏楽研究クラブの演奏

令和8年2月27日発行
第62号
山形県立 米沢興譲館高等学校
〒992-1443
山形県米沢市大字笹野1101
TEL 0238-38-4741
FAX 0238-38-2531
<https://www.yonezawakojokan-h.ed.jp>

Thanks to The Dreamers

生徒自治会長

二年二組 片 平 夏南斗

(沖郷中学校出身)

卒業生の皆さん、御卒業を心よりお祝い申し上げます。そして、これまで私たちが在校生を牽引してくださり、本当にありがとうございました。

日々の学校生活において、勉学を中心に、課題研究や自治会活動、部活動など、あらゆる場面で全力を尽くす先輩方の姿は、興譲館生としての模範そのものでした。「考えること」を行動の中心に据え、高い志と自主性を兼ね備えながら、未知の可能性を切り拓いていく先輩方の背中に、私は深い感銘を受け、憧れを抱いておりました。

これから先輩方は、それぞれの進路を歩んでいくことと存じます。新たな環境で自分を磨く中では、時には困難や葛藤に直面することもあるかもしれません。そんな時には、米沢興譲館で学んだこと、仲間と切磋琢磨した日々を糧に、幾多の壁を乗り越えていけることを確信しております。

在校生一同、先輩方のさらなる活躍を心よりお祈り申し上げます。



高鍋高校との交流



興譲祭ステージ発表



興譲祭

2年普通科 関西キャリア研修

関西で得た成果

二年五組 塚原舞花 (米沢四中出身)

関西キャリア研修を通じて、さまざまな経験をさせていただきました。一日目は原爆ドームを訪れ、戦争の悲惨さを実感しました。そこで目にした光景は今でも強く心に残っています。二日目には探究活動の班ごとに企業や大学を訪問し、専門の方から直接お話を伺いました。私たちの班は興譲館高校前の県道の交通渋滞改善を目的としているため、交通渋滞のメカニズムや渋滞を減らすための改善策について一緒に考えていただき、普段以上に深い学びを得ることができました。また、気さくに答えてくださって話しやすい雰囲気だったことも印象に残っています。今回の四日間ですんだことを、今後の活動や人生に活かしていきます。



1年 東京探究研修

東京で得た学び

一年三組 小形煌星 (沖郷中出身)

僕たち一年生は、十二月十日から十二日の三日間、東京探究研修に行ってきました。僕は「教育と科学」のコースを通して教育に関する考え方や視点など様々なことを学ぶことができました。

「教育と科学」のコースでは東京学芸大学、啓林館、文部科学省で実際に働いている方々からお話を聞き、中でも印象に残っているのは、文部科学省での教育のキャリアや教育の課題についてのお話でした。教育に関わる仕事は教員になることが全てではないことや、教員になるまでの過程が大事であることを学びました。また、部活動の地域移行や労働時間など様々な課題もあって改善しなければならぬこともあることを改めて感じ、良い経験になりました。今回の研修ですんだことを今後の生活や将来につなげていきたいです。



2年 理数探究科・国際探究科 海外研修

理数探究科

理数探究科台湾研修では様々な科学系の施設を訪れ、その一つの国立陽明交通大学では台湾の大学生が行っている研究を現地の大学生から直接お聞きすることができました。複数の研究室を見学し、レーザーを用いた実験の様子を実際に目にするなど多くの貴重な体験をすることができました。新竹科学園区探索館では、台湾での半導体を用いた最新技術について直接説明していただき、詳しく知ることができました。国立台湾師範大学附属高級中学での交流と課題研究発表では現地の高校生と英語でのコミュニケーションをとる中で、同年代とは思えないほどの台湾の高校生の英語の能力の高さにとっても驚きました。自分たちももっと英語を使いこなせるようになっていこうとモチベーションを高めることができました。研修での経験を今後の学習や研究に活かしていきたいです。

台湾研修での経験

二年二組 藤橋 寛 大(米沢一中出身)



国際探究科

言葉を越えた交流

二年一組 安達 小雪
(高畠中出身)

今回の国際探究科台湾研修は初めて海外を訪れる生徒も多く、初めは緊張している人も見受けられました。しかし国立台湾師範大学附属高級中学の生徒や地元の大学生が進んで話しかけてくれたり、分からないことを丁寧に教えてくれたおかげで交流はとも楽しいものになりました。語学力も必要ですが、それ以上に積極的なことや明るく接することが円滑なコミュニケーションにつながるのだと感じました。また、願い事を書いたランタンを飛ばしたり、本場の中華料理を味わったりなど台湾ならではの思い出もつくることができました。この研修を通して英語を用いて海外の人と交流する楽しさを実感し、自信をつけることができました。ここで学んだことと思いを糧にしてこれからの学校生活も頑張っていきたいです。



令和7年度 大学入学共通テスト激励会



今年度の活動を振り返って

今年度の活動を振り返って

バドミントン部

二年二組 高橋 真央
(米沢五中出身)

今年度私たちは二十八人で活動してきました。春の高校総体では地区大会で五冠、県大会で男女団体ベスト8と良い結果ではありましたが、あと一歩というところで惜しくも敗れる試合が多くありました。

今まで引つ張って来てくださった三年生が引退して新体制となった部活はなかなかうまくいかず、定期的にミーティングを行い良い練習ができるように心がけて来ました。

初めて一、二年生だけで臨んだ九月の新人大会では地区大会は六冠、県大会では男子団体三位となり東北大会出場を獲得し、女子シングルスも三位に入賞するなど、素晴らしい成績を残すことができました。今年度の成長がとても感じられる大会となりました。

今後、今年度の活動を通して見つかった課題と向き合い、一人ひとりがさらに成長できるように頑張っていきます。

研鑽と美りの一年

美術部 二年二組 渡辺 さくら

(米沢七中出身)

今年度、美術部は六人で活動してきました。卒業生や保護者・地域の方々、顧問の先生方のご支援のもと活動を続けることができました。五月にはOB・OG展を開催することができました。

さらに、今年度は季節の行事や山寺での研修旅行、様々な展示会に参加し、技術の向上に努めてきました。日々の活動を

楽しみながらも集中して制作に取り組み、地区では最優秀賞、特選、奨励賞を、県では県高美展賞や特選、奨励賞、審査員

推薦をいただき、結果を残すことができました。来年度は、周囲の方々

への感謝を忘れず、今年度の成果に甘んじずに真摯に作品と向き合い、

美術を楽しんでいきたいです。



令和7年度山形県探究学習課題研究発表会

高文連科学専門部の部

○優良賞(物理研究領域)

「磁気センサを用いた多自由度回転系の原点検出」
2年2組 小林 恒平(高畠中出身)

一般の部

○山形大学小白川キャンパス長賞理系部門(生物・農学・医療分野)

「環境DNAを用いた山形県置賜地方における野生メダカ種の継続調査」
2年1組 新野 日毬(米沢四中出身)
2年1組 木村 明莉(米沢五中出身)
2年1組 丹内 唯愛(小国中出身)

○優秀賞(物理・工学分野)

「二重反転式サボニウス型風車の発電量の検証」
2年2組 高橋 優希(飯豊中出身)
2年1組 高橋 那奈(赤湯中出身)
2年2組 岡野 花(米沢三中出身)
2年1組 伊藤 岬(米沢六中出身)

○優良賞(人文・国際分野)

「絵本における役割語とキャラクター像 ～統計的分析を通して～」
2年2組 高木 多恵(米沢一中出身)
2年2組 板垣 希咲(米沢三中出身)
2年2組 井上颯一郎(米沢二中出身)
2年1組 尾形 美来(米沢六中出身)
2年2組 高橋 真央(米沢五中出身)

藩校興譲館創立250年



興譲館字別(安永5年9月 細井平洲先生揮毫 本校所蔵)

米沢興譲館高校の歴史は、鷹山公が藩政改革と共に、細井平洲先生を招聘し興譲館と命名されて再開された藩校が始まりです。安永五年(一七七六年)に創設されたので、令和八年(二〇二六年)が創立二五〇年になります。

- 安永5年(1776) 5月19日 学館落成、細井平洲(興譲館)と命名。
9月13日 細井平洲、米沢下向(第二次)興譲館の学制を定め、「管子」弟子職の中の「字別」を揮毫。
- 明治19年(1886) 9月19日 北堀端片町に米沢中学校新校舎落成。中学校令に準じて教科目を定め修業年限を5か年とし、安永5年興譲館開校の日をとして開校式を挙行(本校創立記念日の由来)
- 明治26年(1893) 5月 山形県知事の管理下に移し「米沢尋常中学校」と改称。
- 明治33年(1900) 4月 県立となり「山形県米沢中学校」と改称。
- 明治34年(1901) 4月 「山形県立米沢中学校」と改称。
- 昭和4年(1929) 1月 「山形県立米沢興譲館中学校」と改称。
- 昭和23年(1948) 4月 「山形県立米沢第一高等学校」と改称。
- 昭和25年(1950) 4月 県立米沢第四高等学校と統合、「山形県立米沢高等学校」と改称。
- 昭和27年(1952) 4月 東校舎に米沢東高等学校を設置、本校は「山形県立米沢西高等学校」と改称。
- 昭和31年(1956) 4月 「山形県立米沢興譲館高等学校」と改称。
- 昭和62年(1987) 10月 新校舎に移転。
- 平成12年(2000) 9月 講堂竣工。